

# 2001(平成13)年度

統一テーマ：「アメニティ最大・環境負荷最少のまちづくり」

月	開催日・タイトル・場所	講 師
4	27 第29回総会・記念講演 「動きだした2005年国際博」 三重大学	安井 俊夫 (財)2005年日本国際博覧会協会 総長代理事務次長)
5	26 「21世紀における津市のまちづくり」 ～海上アクセス拠点の形成、 中勢北部サイエンスシティ等～ アスト津	小林 利之 (津市助役)
6	22 県内学習会 (河芸町) 『21世紀型環境共生住宅』の計画と 実践」(杜の街) 中勢北部サイエンスシティ (視察)	益川 二郎 (河芸町企画課長) 後藤 誠二 (三交不動産株) 藤本 輝秋 ( " ) 村主 茂 ( " ) 森川 謙二 (津市サイエンスシティ推進部)
7	27 「三重県が創設した法定外目的税 『産業廃棄物に係る税』について」 アスト津	小山 巧 (三重県総務局予算調整課長)
8	21 シンポジウム 「リニア中央新幹線で日本は変わる」 名古屋マリオットアソシア  (共催：中央新幹線沿線学会)	奥野 信宏 (名古屋大学副総長) 伊藤 滋 (早稲田大学理工学部教授) 伊藤 達雄 (名古屋産業大学学長) 加藤 晃 (岐阜大学名誉教授) 今野 修平 (大阪産業大学経済学部教授) 斎藤 峻彦 (近畿大学商経学部教授) 杉山 武彦 (一橋大学大学院教授) 曾根 悟 (工学院大学教授) 竹内 伝史 (岐阜大学地域科学部教授) 花岡 利幸 (山梨大学工学部教授) 平山 祐次 (信州大学名誉教授) 森知 茂 (東京大学大学院教授)
9	29 久居駅前地区第一種市街地再開発事業 を検証する ～弁護士の観点から事業を分析し再開 発とは何かを問う～ ポルタ久居	坂和 章平 (弁護士)
10	14～15 県外学習会 (大阪) 「近ごろ関西が面白いらしい」 ～宇治平等院と宝塚、 そしてUSJに遊ぶ～	
11	9 公開シンポジウム 「三重の都市環境と公共事業」 ～これからの地域づくりのために～ アスト津アストホール	伊藤 允久 (尾鷲市長) 鹿嶋 洋 (三重大学人文学部教授) 小菅 弘正 ((社)中部経済連合会副会長) 高尾 茂樹 (三重県県土整備部道路整備課長) 中村 直美 (「旅の手帖」編集長) 濱田 益嗣 (株赤福代表取締役社長) 日比 義也 (三岐鉄道株代表取締役社長) 山本 藤雄 (株伊勢新聞社取締役編集局長) 伊藤 達雄 (名古屋産業大学学長)
12	16 県内学習会 (宮川村) 「交流と共感による『日本で一番美 しい村づくり』を中心とした取組みに ついて」	小椋 厚 (宮川村企画調整課長)
1	19 「人の暮らしと水“湖沼の伝説”」 教育文化会館	中野 晴生 (写真家)
2	16 「市町村合併を考える」 アスト津	田岡 光生 (三重県地域振興部審議監)
3	16 自主研究発表 「地域経済政策の課題とその処方箋」 「地域における物質循環政策の展開と その方向性」 三重大学	濱千代喜代司 (三重大学人文学部) 伊藤 雅一 (名古屋産業大学)
	7/19～22 海外学習会 (韓国・4日間) 「世界文化遺産4ヶ所を巡って韓国文 化を学び仁川国際空港で新しい韓国 を考える」	
3	3/16～21 海外学習会 (ニューヨーク・6日間) 「20世紀の巨大都市文明の極致・ ニューヨークで21世紀の都市のあり 方を考える」	

## 国 内

## 国 際

1. 小泉内閣発足	1. 米中枢同時テロ
2. 国内初の狂牛病	2. タリバン崩壊
3. 失業率5%台	3. 米で炭疽菌テロ
4. 池田小児殺傷	4. 中東和平とん挫
5. 愛子さま誕生	5. プッシュ政権発足
6. えひめ丸事故	6. ITバブル崩壊
7. テロ特措法成立	7. 中国WTO加盟
8. イチロー大活躍	8. 京都議定書発効へ
9. 外務省不祥事	9. 北京五輪決定
10. ハンセン病勝訴	